

校内研究だよ!

町田市立金井小学校
2018年10月15日
研究推進部

10月17日(水) 専科 図工研究授業「ふたりのまど」A表現2

講師:横浜国立大学准教諭 大泉義一先生

★4校時に3/6時間の授業を行います。参観できる方は、授業の流れ見られます。

13:20 3年2組図工 研究授業 母袋美純先生

14:05※個人の感想・意見・視点をもとに気付いたことなど付箋に記入

14:20 協議会 挨拶・講師紹介・授業者自評

14:30 グループ協議(20分)



全体交流(グループ代表より、協議のまとめや傾向など発表10分)

15:05 講師の先生より指導講評(40分)

15:45 謝辞

★グループ協議のメンバー★

A	B	C	D
杉山 1	田中 2	小島 1	吉野 1
松原 2	木下 3	塩沢 2	佐藤 3
澤田 4	金宮 5	窪田 4	谷田部 4
石黒 5	高崎 6	鈴木真 5	時國 6
松本 6	母袋 図	山崎 養	東家
村上 算	菊池 み	瀧尾 み	野本 み
河原 み		大久保 専	

これらの視点で授業を参観しながら、「子供の姿」から「教師の指導」から「環境・場づくり・その他」から見られることを付箋に記入して下さい。また「ぜひ、学級や学年で取り入れていきたい」実践や系統的にやった方がよいことなども協議会で交流し合いましょう。



図工「ふたりのまど～光をつかまえて～」 研究授業の視点

○図工の学習として「認め合いの視点」

自己内対話(※裏面に説明)の中で生まれた発想やイメージを“表現”や“対話”を通して互いに伝え、認め合っている。

○授業のとして「学び合いの視点」

「ふたりの世界」を作るために形や色を工夫し、協力して「作り→作り変え→作る」を繰り返しながら2人で形にしようとしている。

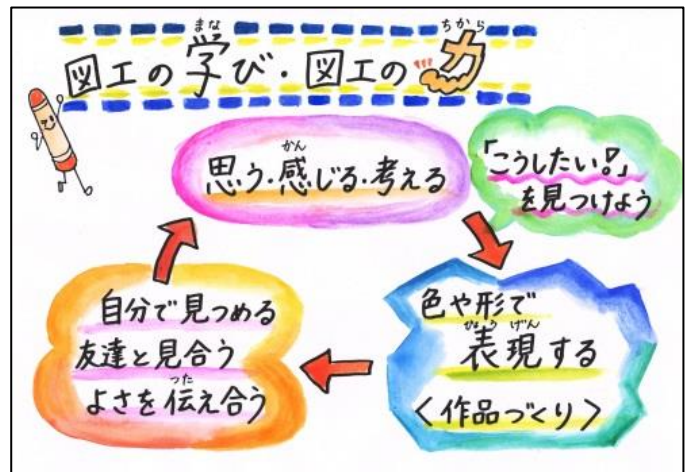
図工では、他者と話すという意味以外の「対話」について理解しておく必要がある。

- ★「物」との対話
- ★「場所」との対話
- ★「自己」との対話

言葉や文字で表す「他者との対話」の前に、
*物や場所と出会い、自分の感覚を働かせて「感じる」こと
*自分のやりたいこと・やってみたいことを考え、見つけること
などの、いわゆる「自己内対話」を繰り返しながら、表現や学びに向か
っていく。

生まれた自分の考え・発想・イメージを色や形で
“表現したり、友達と“対話”したりして伝え合い、
認め合いながら、次の発想や表現につなげていく。

金井小の図工室



2枚重ねはいい
きれいだね！



海のイメージで青の
セロファンを重ねよう。

